

筑豊のこどもたち（1960）

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 108分

初公開日 1960/11/13

【解説】

1冊100円で発売されベストセラーとなった土門拳の同名写真集にヒントを得て、菊島隆三と広沢栄が脚本を起し、内川清一郎が監督した人間ドラマ。斜陽となった炭鉱に住まう子供とその家族の姿を、オールロケーション撮影で描く。

筑豊炭鉱で暮らす江藤武の父は失業中で、毎日焼酎を飲んで暮らしていた。母は愛想を尽かして家出。兄は福祉局に内緒で大手の炭鉱に勤めていたが、ストライキに参加したため解雇されてしまった。武の通う学校では修学旅行の旅費が2700円と発表された。ボタ拾いなどで旅費を稼ごうとしていた武だったが、金額を聞いて修学旅行をあきらめかける。しかし学校の子供たちは、募金により全員修学旅行へ行けることになった。

【クレジット】

監督 内川清一郎

製作 菊島隆三 Kikushima Ryuzou

原作 土門拳

脚本 菊島隆三 Kikushima Ryuzou

広沢栄

撮影 白井茂

伊東秀明

関口敏雄

美術 水谷浩

音楽 佐藤勝

出演 加東大介

小泉博

沖村武

福田公子

三橋達也 Tatsuya Mihashi

伊藤雄之助